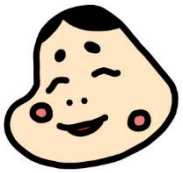
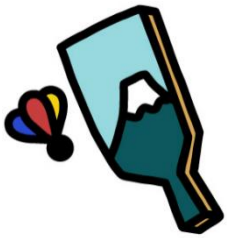
ことばのおたより

一般財団法人 三宅医学研究所
てふてふ
令和６年１月

新春のお慶びを申し上げます。
新しい１年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって、
笑顔あふれる幸多き年になりますよう、お祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

12月のことばの教室では、ビニール袋にシールで作った目や口をくっつけて、オバケを作ってもらいました。
「目はここ、口はここ」とバランスを取りながら貼っていた子、隣の友達とオバケを見せあっていた子。たくさんの笑顔とコミュニケーションが生まれていました。
1月は昔から親しまれているお正月あそびの１つである福笑いで遊ぼうと思います。
福笑いの由来や起源ははっきりとしていないそうですが、江戸時代の後期に誕生し、明治時代頃に普及したと言われているようです。
そして出来上がった面白い顔を見てみんなで笑い合うことから「笑う門には福来る」ということわざのように、新しい１年の幸せを願う気持ちをこめて、お正月の遊びになったと伝えられているそうです。
福笑いには顔の中のどの位置に、目や口があるか頭に思い描くことができるボディーイメージや、「もっと上だよ」など位置関係を伝えたり、理解する能力を高める効果があります。
今月も子どもたち同士のやりとりを大切に取り組もうと思います。